

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年06月28日

計画の名称	市民が安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくりの推進（重点）											
計画の期間	令和02年度～令和02年度（1年間）											
交付対象	京田辺市											
計画の目標	田辺公園内に立地する田辺中央体育館では、年間を通して市民向けの健康教室や各種スポーツ大会が開催されており、市民のみならず市域外の人々がスポーツの場として利用されている。令和3年には、ワールドマスターズゲームズ2021関西におけるハンドボール競技の開催会場として選定されており、選手及び観客がより安全で快適に利用できるような、熱中症対策をはじめとしたスポーツ環境の改善・向上が最重要課題である。一方、京田辺市総合計画では、田辺中央体育館を含む公共公益施設が集積する地区を交流機能エリアとして位置づけており、市内各地から多くの市民が集い、憩い、交流する場として、多様な市民サービス機能の充実が掲げられている。また、京田辺市スポーツ推進計画によると、市民を対象としたスポーツに関する意識調査にて、田辺中央体育館の整備が不十分であると回答した方が約25%となっており、同施設への利用促進に向けた整備が必要である。こうした状況を踏まえて、体育館施設（設備）設置事業を中心にバリアフリー化も推進し、国際大会開催に向けた良好なスポーツ環境を確保するとともに、様々な立場の人々が体育館を利用促進されるよう整備を行うものである。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	250	A	250	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0 %

番号	定量的指標の定義及び算定式	計画の成果目標（定量的指標）		定量的指標の現況値及び目標値	
		当初現況値	中間目標値	最終目標値	
				(平成30年度)	(令和5年度)
1	体育館の年間利用者数を137,443人（平成30年度）から140,243人（令和5年度）に増加 体育館の年間利用者数を調査	137443人	人		140243人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
【令和5年度の目標値の考え方】・体育館施設の利用環境の改善に伴い新たにできる大会及び利用者数 レーヴチャレンジカップ・1000名 中学生山城地区大会・300名 全国マスターズハンドボール大会・1000名 京都府民総合体育大会・500名														

A 基幹事業																							
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況				
		一體的に実施することにより期待される効果																					
		備考																					
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	京田辺市	直接	京田辺市	-	-	都市公園事業(田辺中央 体育館)	体育館施設(設備)設置	京田辺市						250	1.5	-				
																	250						
																	250						

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
京田辺市建設部において実施	事業完了後
事業効果の発現状況	
定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	体育館の空調設備及びアリーナ床の改修工事を実施した。 体育館の年間利用者数は、令和元年度の125,441人に比べ、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により利用者数が減少し50,995人となったが、令和5年度は103,463人となり利用者数が回復しつつある。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
計画策定当初は令和2年度から令和4年度の計画で、体育館の空調設備及びアリーナ床の改修工事以外にLED照明設置工事とバリアフリー対応工事の2事業も掲げていた。社会資本整備総合交付金を活用して進める予定であった2事業は、指定管理者である特定非営利活動法人京田辺市スポーツ協会の予算とtotoの助成金によってそれぞれ令和3年度と令和4年度に完成したため計画から削除。利用者数の目標は全ての事業の効果も含めて考慮しているため、当初の最終目標値は変更せずに事後評価を行った。	

目標値の達成状況				
番号	指標（略称）			
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因		
1	5年で2,800人増加		新型コロナウイルス流行による一時的な体育館利用者数減少のため。	
	最終目標値	140243人		
	最終実績値	103463人		